（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹デザインカレッジ	平成4年3月24日	森川　和哉	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-3-5 （電話）　087-823-5500
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-2266

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
工業	工業専門課程	グラフィックデザイン学科	平成15(2003)年度	－	平成28(2016)年度

学科又は専攻科の目的	デザインツールによる実習を通して、デザイナーとしての基礎的な技術を習得し、豊かな想像力と確かな表現力を身につけたスペシャリストを育成する。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能な資格(Illustratorクリエイター能力認定試験、Photoshopクリエイター能力認定試験、色彩検定)

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	64　単位	16 単位	58 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数(学生実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率
50 人	42 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	15	人
■就職希望者数 (D)	14	人
■就職者数 €	14	人
■地元就職者数 (F)	9	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	64	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	93	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

(令和7年度卒業生)

印刷業界、デザイン事務所

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/design/graphicdesign/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数		64 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数	12 単位
	うち必修単位数	12 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	12 単位
	（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	1 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	2 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	1 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		4 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年10月27日　15:30～16:30/第2回　令和8年3月13日　11:00～12:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
森川　和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
加藤　猛	学校法人　穴吹学園　高松	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
西尾　通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
大西　歩未	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
髙橋　潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
中田　忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
眞鍋　量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
佐々木　和郎	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
長川　信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
クライアントワークⅠ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	依頼のあったポスターやロゴマークなどの作品制作を授業で行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	丸亀商工会議所、一般社団法人香川宅建、香川県信用組合、丸亀市スポーツ協会ほか
エディトリアルデザインⅠ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	依頼のあった冊子やフライヤーなどの作品制作を授業で行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	社会福祉法人香川県社会福祉協議会ほか
エディトリアルデザインⅡ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	依頼のあった冊子やフライヤーなどの作品制作を授業で行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	社会福祉法人香川県社会福祉協議会ほか
映像デザイン応用Ⅱ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	依頼のあった動画などの作品制作を授業で行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	高松市広聴広報・シティプロモーション、穴吹エンタープライズ株式会社ほか
Webマーケティング Ⅰ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	依頼のあった動画などの作品制作を授業で行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	高松市広聴広報・シティプロモーション、穴吹エンタープライズ株式会社ほか

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	「SNS型広告の今」−最新の広告戦略を徹底解説−	連携企業等：	デジタルハリウッド株式会社
期間：	令和7年6月30日（月）	対象：	学科教員
内容	SNS型広告の運用におけるWebマーケティングや顧客に適したターゲティングと認知戦略を学ぶ		

研修名：	Blenderで学ぶ3Dモデリング入門～基礎から出力まで、最短で習得する実践フロー～	連携企業等：	株式会社コンフィデンス・インターワークス
期間：	令和8年1月20日（火）	対象：	学科教員
内容	高機能かつ無料で使用できる統合型3DCGソフト「Blender」にフォーカスし、3DCGモデリングの基礎と実践的なフローを学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	資料作成めんどくさい問題、生成AIで終わらせましょう	連携企業等：	株式会社クリエアナブキ
期間：	令和7年7月24日（木）	対象：	学科教員
内容	「生成AI」を活用しながら効率的に高品質な資料を作成できるように、実務に役立つテクニックを学ぶ		

研修名：	DXマインド・スタンス　すべてのビジネスパーソンのためのDXの心得	連携企業等：	NEC
期間：	令和8年1月5日～3月31日の期間で随時	対象：	学科教員
内容	「DXマインド・スタンス」について学ぶ		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	このデザイン、どこがダメ？ デザインの基礎知識 Vol.9 クリエイターが知っておきたい紙と印刷におけるタイポグラフィ[応用編]	連携企業等：	株式会社クリーク･アンド･リバー社
期間：	令和8年11月12日（木）	対象：	学科教員
内容	デザイン事例をもとに文字の大きさや行間、文字組み、可読性など、印刷物ならではの考え方を学びながら、読みやすく美しい誌面づくりのポイントを学ぶ		

研修名：	はじめて学ぶFireflyとPhotoshop連携 ～生成AIで変わる制作フローの基本と活用ポイント～第2回：Photoshopとの連携ポイント	連携企業等：	株式会社クリーク･アンド･リバー社
期間：	令和8年11月19日（木）	対象：	学科教員
内容	Fireflyの基本的な仕組み理解し、Photoshopとの連携によってデザイン制作にどのような変化をもたらすのかを学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	AI時代に採用側と考える、学生の『伝わるデザイン』の育て方 ― 企業は学生のポートフォリオの『どこ』を見ている？ ―	連携企業等：	株式会社モリサワ
期間：	令和8年11月27日（金）	対象：	学科教員
内容	企業が学生のポートフォリオや作品を評価する際のポイントをはじめ、学生が自ら考え、制作意図を相手に伝えるために必要な力について学ぶ		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界団体委員
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
金子　達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
川平　建三郎	香川県立善通寺第一高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
宇佐美　梨恵	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	保護者代表委員
田村　享昭	タムラデザイン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2025/11/4186ac805f4fe58e4e29b3cbab20711c.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（工業専門課程 グラフィックデザイン学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○	－	－	デジタル基礎Ⅰ	グラフィックデザインにおけるIllustratorとPhotoshopの機能と基本的な操作を学ぶ	1前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
2	○	－	－	デジタル基礎Ⅱ	グラフィックデザインにおけるIllustratorとPhotoshopの応用を実習を通して学ぶ	1後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
3	○	－	－	GD演習Ⅰ	デザイナーとして必要な、クライアント要求に自分のオリジナリティを持って最適なアイデア、ビジュアルソリューション提案を体験する。JAGDA国際学生ポスターアワード・二科展デザイン部で入賞・入選を目指す。	1前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
4	○	－	－	GD演習Ⅱ	デザイナーとして必要な、クライアント要求に自分のオリジナリティを持って最適なアイデア、ビジュアルソリューション提案を体験する。全国コンペでの入賞・入選を目指す。	1後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
5	○	－	－	クライアントワークⅠ	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。 受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	1前	2	－	○	－	○	－	－	○	○
6	○	－	－	クライアントワークⅡ	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。 受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	1後	2	－	○	－	○	－	－	○	○
7	○	－	－	ベーシック・デザイン	講義及び課題制作を通して、平面造形の基礎的な知識と技能を習得する。	1前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
8	○	－	－	Webデザイン基礎Ⅰ	WebサイトとWebデザインについての知識を学び、Webサイトを構築する技術を身につける。	1前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
9	○	－	－	Webデザイン基礎Ⅱ	WebサイトとWebデザインについての知識を学び、Webサイトを構築する技術を身につける。	1後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
10	○	－	－	色彩計画	グラフィックデザイナーとして効果的なカラーコーディネーションを行うために、まず色の性質を知り、配色の基本を学ぶ。また、検定対策を行い色彩検定３級の取得を目指す。（希望者は2級習得も目指す）	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
11	○	－	－	3D演習	Blenderを使用した3DCGモデリング手法を学ぶ。	1後	1	－	○	－	○	－	○	－	－

12	○	－	－	アイデア発想法	脳のメカニズムを知る事て 効率よくアイテ ア想を行えるポイントを理解し、日々のトレーニングを□続けて右脳を活性化する。	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
13	○	－	－	グラフィックデザイン概論	グラフィックデザインが持つ社会的役割を理解し、企画に必要なアイデアや様々なビジュアル要素への理解を深める。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
14	○	－	－	社会人基礎講座Ⅰ	就職活動に向けての心構え、履歴書、自己ＰＲ作成□	1後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
15	○	－	－	コピー概論	多くのCM作品などを見ることで、クリエイティブすること、表現することに興味を持ち、 言葉の楽しさと奥深さ、広がり、大切さを理解する。	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
16	○	－	－	映像デザイン基礎	映像作品を制作する上で必要な絵コンテの作成や映像加工ソフト「Adobe Aftereffects」の操作など、基本的技術を習得する。	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
17	○	－	－	プランニング概論	現在の市場、生活者の動向などマーケットの概要を学び、企画に役立つ情報や知識、理論を理解する。また、著名なクリエーター、マーケッター別に、課題へのアプローチの方法とプレゼン思考を養う。	1後	2	○	－	－	○	－	－	○	－
18	○	－	－	修了制作	２月に実施される作品展示会「デザイン展」に向けてポスターを基本とした作品を制作する。テーマに対し、企画・コンセフ トを充分に練った上で制作、プレゼンを実施する。	1後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
19	○	－	－	社会人基礎講座Ⅱ	就職活動において必要な心得やスキルを習得する。動画で要点を学び、宿題を通じで問題や課題を発見し、授業で解決していく。	2前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
20	○	－	－	GD演習Ⅲ	デザイナーとして必要な、クライアント要求に自分のオリジナリティを持って最適なアイデア、ビジュアルソリューション提案を体験する。JAGDA国際学生ポスターアワード・二科展デザイン部で入賞・入選を目指す。	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
21	○	－	－	グラフィック応用	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。 受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
22	○	－	－	グラフィック実務	クライアントの要望を理解し、それに応じた制作を行う。 受注内容を深掘りし、自らコンセプトや制作意図を考えて制作する。	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
23	○	－	－	アドバタイジング	「広告」の現状に即した、より実践に役立つ企画表現技術を学ぶ	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
24	○	－	－	コミュニケーションデザイン	デジタルマーケティングの基礎を理解するとともに、コミュニケーションをデザインする	2後	4	○	－	－	○	－	－	○	－
25	○	－	－	エディトリアルデザインⅠ	デザインデータの仕組みと特殊印刷・加工のデータ制作方法を習得するともにDTP業界でのデータを活用した業務の広がりや展開方法を学ぶ	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	○

26	○	－	－	エディトリアルデザインⅡ	企画からデザイン及び印刷用の入稿データ制作までの一連のDTPワークフローを学ぶ	2後	2	－	○	－	○	－	○	－	○
27	○	－	－	卒業制作	テーマに対し、企画・コンセプトを充分に練った上で２年間の集大成といえる作品の制作、プレゼンを実施する。デザイン展での発表を行い外部評価を得る。	2後	2	－	○	－	○	－	○	－	－
28	○	－	－	プロダクトデザイン演習Ⅰ	身近にあるモノをより良いモノにデザインし、こんなのあったらいいなと思うモノを考え、オリジナルグッズやパッケージ、カレンダーなどの商品企画に取り組む。また地域の特産品をブランディングし、トータルデザイン展開の手法を身につける。	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
29	○	－	－	プロダクトデザイン演習Ⅱ	身近にあるモノをより良いモノにデザインし、こんなのあったらいいなと思うモノを考え、オリジナルグッズやパッケージ、カレンダーなどの商品企画に取り組む。また地域の特産品をブランディングし、トータルデザイン展開の手法を身につける。	2後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
30	－	○	－	イラストレーションⅠ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学び絵を描く仕事に必要な事を学習する。	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
31	－	○	－	イラストレーションⅡ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学び絵を描く仕事に必要な事を学習する。	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
32	－	○	－	グラフィックワークⅠ	グラフィックデザインで何ができるか？何がしたいか？を考え実践する	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
33	－	○	－	グラフィックワークⅡ	グラフィックデザインで何ができるか？何がしたいか？を考え実践する	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
34	－	○	－	3D応用Ⅰ	Fusionを使用し3D画像を作成、グラフィック作品に活用できる。	2前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
35	－	○	－	3D応用Ⅱ	Fusionを使用し3D画像を作成、グラフィック作品に活用できる。	2後	1	－	○	－	○	－	○	－	－
36	－	○	－	映像デザイン応用Ⅰ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身につける グループ制作による個人の役割を知る	2前	2	－	○	－	○	－	－	○	○
37	－	○	－	映像デザイン応用Ⅱ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身につける グループ制作による個人の役割を知る	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	○
38	－	○	－	Webデザイン応用Ⅰ	HTMLとCSSの基本に加え、より高度なサイト制作技術を習得する	2前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
39	－	○	－	Webデザイン応用Ⅱ	Webデザイナー・コーダーとしての実務に役立つ技術を学ぶ	2後	2	－	○	－	○	－	○	－	－

40	－	○	－	Web マ ー ケティングⅠ	各種SNSの特徴や活用方法を学び、情報発信力を身につけ、自ら投稿し、結果（インサイト）を分析し、改善を重ねることでインフルエンサーとしての情報発信力を身につける。	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
41	－	○	－	Web マ ー ケティングⅡ	各種SNSの特徴や活用方法を学び、情報発信力を身につけ、自ら投稿し、結果（インサイト）を分析し、改善を重ねることでインフルエンサーとしての情報発信力を身につける。	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
合計					41 科目 74 単位												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	①全科目の成績評価がすべてC以上であること ②年間出席率80%以上	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履修完了となる。 演習：テーマに基づき課題を制作・提出。合格すれば履修完了。	１学期の授業期間	15 週

（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹デザインカレッジ	平成4年3月24日	森川　和哉	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-3-5 （電話）　087-823-5500
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-2266

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
工業	工業専門課程	トータルインテリア学科	平成17(2005)年度	－	平成26(2014)年度

学科又は専攻科の目的	快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を習得し、インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材を育成する。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能資格：文部科学省後援 色彩検定 日本インテリア設計士協会 インテリア設計士資格検定試験 公益社団法人インテリア産業協会 インテリアコーディネーター資格試験

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	65　単位	34 単位	59 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
50 人	28 人	0 人	0 %	3 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	15	人
■就職希望者数 (D)	14	人
■就職者数 €	14	人
■地元就職者数 (F)	6	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	43	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	93	%
■進学者数	1	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

建築施工会社 インテリアショップ

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/design/total-interior-design/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数	65 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	13 単位
うち必修単位数	13 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	13 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	1 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		1 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	0 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年10月27日　15:30～16:30/第2回　令和8年3月13日　11:00～12:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
森川　和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
加藤　猛	学校法人　穴吹学園　高松	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
西尾　通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
大西　歩未	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
髙橋　潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
中田　忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
眞鍋　量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
佐々木　和郎	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
長川　信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
スペースデザイン演習Ⅰ・Ⅱ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	企業から依頼されたプロジェクトについて、企画、提案、制作を通して技術の向上を目指す。評価は、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	穴吹エンタープライズ株式会社 一般社団法人讃岐GameN
創造制作演習	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	企業から依頼されたプロジェクトについて、企画、提案、制作を通して技術の向上を目指す。評価は、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	穴吹エンタープライズ株式会社 一般社団法人讃岐GameN
コンペ演習	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	企業から依頼されたプロジェクトについて、企画、提案、制作を通して技術の向上を目指す。評価は、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	穴吹エンタープライズ株式会社 一般社団法人讃岐GameN
総合デザインⅠ・Ⅲ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	企業から依頼されたプロジェクトについて、企画、提案、制作を通して技術の向上を目指す。評価は、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	穴吹エンタープライズ株式会社 一般社団法人讃岐GameN
総合デザインⅡ・Ⅳ	5．その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	企業から依頼されたプロジェクトについて、企画、提案、制作を通して技術の向上を目指す。評価は、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。	穴吹エンタープライズ株式会社 一般社団法人讃岐GameN

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	Vectorworks University4	連携企業等：	Vectorworks, Inc
期間：	随時受講	対象：	学科教員
内容	Vectorworksの基礎から応用、新機能まで、目的に沿った動画やサンプルプロジェクトを体系的に学べるコース		
研修名：	「ミラノサローネ2026 トレンドレポート」	連携企業等：	スリーエム ジャパン株式会社
期間：	令和8年7月16日（木）	対象：	学科教員
内容	ミラノサローネ2026のハイライト　CMF（カラー・マテリアル・フィニッシュ）トレンド分析		
研修名：	2026 September アメリカ西海岸建築レポート VOL.30	連携企業等：	株式会社エーディコア・ディバイズ
期間：	令和8年9月2日（水）	対象：	学科教員
内容	今後の住宅需要と公共施設でのアイデアとして感じることができるハイエンド住宅のレポート		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	DXマインド・スタンス　すべてのビジネスパーソンのためのDXの心得	連携企業等：	NEC
期間：	令和8年1月5日～3月31日の期間で随時	対象：	学科教員
内容	「DXマインド・スタンス」について学ぶ		
研修名：	教育×生成AI オンライン・サミット 2026	連携企業等：	株式会社自習ノート
期間：	令和8年8月4日（火）	対象：	学科教員
内容	生成AIについての「現場の本音」大規模オンライン・トークセッション		
研修名：	学生のドロップアウト予防・早期発見・フォローの3ステップとICT活用のポイント	連携企業等：	コレオス株式会社
期間：	令和8年10月4日（日）	対象：	学科教員
内容	学生のドロップアウト予防・早期発見・フォローを可能にするICT活用の具体例		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	AIインテリアシミュレーターがもたらす未来	連携企業等：	JAPANTEX2026
期間：	令和8年11月18日（水）	対象：	学科教員
内容	AIによるインテリアコーディネートアプリの開発の経緯と、ビジネスにもたらす影響について		
研修名：	2027年に求められる色彩動向	連携企業等：	JAPANTEX2026
期間：	令和8年11月19日（木）	対象：	学科教員
内容	2027年のライフスタイル全般における色彩動向について		
研修名：	データで読み解く！住まい&インテリアトレンド最前線 2026	連携企業等：	JAPANTEX2026
期間：	令和8年11月20日（金）	対象：	学科教員
内容	RoomClipの実例写真650万枚と月600万人の行動データから、2026年の住まい・インテリアの“新定番”を読み解く		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	教育AIサミット ONLINE ～AIを使うチカラ。問いを創るチカラ。～	連携企業等：	一般社団法人教育AI活用協会
期間：	令和8年11月14日（土）	対象：	学科教員
内容	学校現場での生成AI活用の実践事例と、AI時代に求められる探究学習のあり方		
研修名：	中途退学予防と学生支援 ～AI・データから早期に読み解く予兆と具体的な支援策～	連携企業等：	一般社団法人 実践行動学研究所
期間：	令和8年11月17日（火）	対象：	学科教員
内容	出席・成績データ等の可視化・統計分析による中途退学リスク早期発見と支援アプローチ		
研修名：	「データ活用」で学生を知る、クラスを育てる。	連携企業等：	株式会社ウイネット
期間：	令和8年11月25日（水）	対象：	学科教員
内容	専門学校における「データを活用した学生支援」をテーマとするセミナー		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界団体委員
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
金子　達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
川平　建三郎	香川県立善通寺第一高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
宇佐美　梨恵	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	保護者代表委員
田村　享昭	タムラデザイン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2025/11/4186ac805f4fe58e4e29b3cbab20711c.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（工業専門課程　トータルインテリア学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○	－	－	ＩＣ基礎Ⅰ	インテリアエレメントについて学ぶ	1通	4	○	－	－	○	－	－	○	－
2	○	－	－	ＩＣ基礎Ⅱ	インテリア計画・人間工学について学ぶ	1通	4	○	－	－	○	－	－	○	－
3	○	－	－	パース演習	1点透視図の作図法・色鉛筆での着彩技術の習得	1通	3	－	○	－	○	－	－	○	－
4	○	－	－	ＩＣ基礎演習Ⅰ	インテリア設計士（学科）に合格する為の知識を身に付ける	1前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
5	○	－	－	ＩＣ基礎演習Ⅱ	インテリア設計士（実技）に合格する為の技術を身に付ける	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
6	○	－	－	造形演習	ディスプレイの基礎知識を学び、ｸﾞﾙｰﾌﾟ制作を通して技術を身につけると共に協調性を養う	1通	4	－	○	－	○	－	－	○	－
7	○	－	－	ＭＡＣ演習	パソコンの基礎技術の習得、イラストレーターの技術習得	1通	2	－	○	－	○	－	－	○	－
8	○	－	－	プランニング演習	オリジナルデザインの店舗の計画・提案	1通	5	－	○	－	○	－	－	○	－
9	○	－	－	インテリア製図	手書き手法で、立体物を平面で表現する技術の習得	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
10	○	－	－	モデリング	実際のミニチュアサイズを制作し３Ｄ感覚を養う	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
11	○	－	－	総合デザインⅠ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
12	○	－	－	総合デザインⅡ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	○

13	○	－	－	スペースデザイン演習Ⅰ	クライアントを設定した実践的な制作	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	○
14	○	－	－	作品展示計画Ⅰ	実践を通して空間デザインのノウハウを身につける	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
15	○	－	－	ＣＡＤ演習	ＪＷＣＡＤを使って２次元作図法の技術習得	1後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
16	○	－	－	コンペ演習	クライアントを設定した実践的な制作	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
17	－	○	－	コンペ演習	クライアントを設定した実践的な制作	2通	2	－	○	－	○	－	－	○	○
18	○	－	－	３ＤＣＧ演習	3Dソフトを使って設計図の３次元化の技術を身につける	2通	4	－	○	－	○	－	－	○	－
19	○	－	－	スペースデザイン演習Ⅱ	クラス全員のグループ制作と捉え実在空間のプラン・制作・運営を行う	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	○
20	○	－	－	総合デザインⅢ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	2前	1	－	○	－	○	－	－	○	○
21	○	－	－	総合デザインⅣ	産学連携企画等、グループ制作を通して総合力を身につける	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	○
22	－	○	－	作品展示計画Ⅱ	実践を通して空間デザインのノウハウを身につける	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
23	－	○	－	ＩＣ概論Ⅰ	検定対策（住宅環境、設備について）【設備】	2通	4	○	－	－	○	－	－	○	－
24	－	○	－	ＩＣ法規	検定対策（建築の法規について）	2前	2	○	－	－	○	－	－	○	－
25	－	○	－	ＩＣ構造	建築の基本的な構造について	2通	4	○	－	－	○	－	－	○	－
26	－	○	－	ＩＣ材料	建築の基本的な材料について【環境】	2通	4	○	－	－	○	－	－	○	－
27	－	○	－	ＩＣ施工	検定対策（建築の基本的な工法について）	2後	2	○	－	－	○	－	－	○	－

28	－	○	－	インテリア設計	自由な発想で２年間の集大成として相応しい作品制作	２通	5	－	○	－	○	－	－	○	－
29	－	○	－	コーディネート演習	実務に役立つ案件の設定での演習	２前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
30	－	○	－	ＳＰ演習	建築、インテリア設計のプロセスを理解しプランニング能力を向上させる	２通	4	－	○	－	○	－	－	○	－
31	－	○	－	家具デザイン概論	木材の知識、機械・工具の知識習得	２通	4	○	－	－	○	－	－	○	－
32	－	○	－	家具デザイン演習	コンセプト設定から実制作までの一連の流れを習得	２通	5	－	○	－	○	－	－	○	－
33	－	○	－	創造制作演習	構造・かたち・機能性を理解しプランニングし、創造を形にする	２通	5	－	○	－	○	－	－	○	○
34	－	○	－	LS概論	リビングスタイリスト検定合格を目指す	２前	4	○	－	－	○	－	○	－	－
35	－	○	－	家具技能演習	家具の仕口、継手等基本を学び技能検定3級取得を目標とする	２通	4	－	○	－	○	－	－	○	－
合計					35　科目　　93　　単位											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	①全科目の成績評価がすべてC以上であること ②年間出席率80%以上	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	2年進級時に、所属する専攻を選択する。 講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履修完了となる。 演習：テーマに基づき課題を制作・提出。合格すれば履修完了。	１学期の授業期間	15 週

（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹デザインカレッジ	平成4年3月24日	森川　和哉	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-3-5 （電話）　087-823-5500
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-2266

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
文化・教養	文化教養専門課程	マンガ・コミックイラスト学科	平成20(2008)年度	－	平成28(2016)年度

学科又は専攻科の目的	マンガのストーリー構成、企画、表現を学び、マンガ雑誌に投稿できるまでの知識、技術を身に付けた人材の育成や、様々な画材の基礎的な技術を習得し、表現力豊かなイラスト制作ができる人材を育成する。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	色彩検定

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	64　単位	16 単位	48 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
31 人	31 人	0 人	0 %	0 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	11	人
■就職希望者数 (D)	7	人
■就職者数 €	4	人
■地元就職者数 (F)	4	人
■就職率 (E/D)	57	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	100	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	36	%
■進学者数	1	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

印刷業界、サービス業

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/design/comic-illustration/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数		65 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数	13 単位
	うち必修単位数	13 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	13 単位
	（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	1 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		1 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	0 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年10月27日　15:30～16:30/第2回　令和8年3月13日　11:00～12:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鶴川　信一郎	64	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
森川　和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
加藤　猛	学校法人　穴吹学園　高松	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
西尾　通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
大西　歩未	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
髙橋　潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
中田　忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
眞鍋　量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
佐々木　和郎	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
長川　信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	てく学（1回目）	連携企業等：	飛多　瞭（てく学者）
期間：	2026年5月22日	対象：	教員・学生
内容	てく学の視点での探求テーマの多様性と深化について		
研修名：	てく学（2回目）	連携企業等：	飛多　瞭（てく学者）
期間：	2026年7月24日	対象：	教員・学生
内容	てく学の視点での探求テーマの多様性と深化について		
研修名：	AI時代のビジュアル表現とリテラシー	連携企業等：	中村千雅
期間：	2026年6月12日	対象：	教員・学生
内容	AIにおける人間の役割や制作意図、発想の重要性について学ぶ		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	DXマインド・スタンス　すべてのビジネスパーソンのための DXの心得	連携企業等：	NEC eラーニングサポート
期間：	2026年1月5日～	対象：	教員・学生
内容	企業基準のDX教育を専門学校の教育課程の中で学ぶ		

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	てく学（4回目）	連携企業等：	飛多　瞭（てく学者）
期間：	2026年11月20日(金)	対象：	教員・学生
内容	てく学の視点での探求テーマの多様性と深化について		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	知っておきたい著作権のポイント	連携企業等：	一般財団法人対日投資交流促進協会mipro
期間：	2026年11月20日(金)　14:00～15:30	対象：	教員・学生
内容	著作権の基礎や裁判から学ぶトラブル、また生成AIと著作権について		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界団体委員
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
金子　達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
川平　建三郎	香川県立善通寺第一高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
宇佐美　梨恵	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	保護者代表委員
田村　享昭	タムラデザイン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2025/11/4186ac805f4fe58e4e29b3cbab20711c.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（文化教養専門課程 マンガ・コミックイラスト学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			イラスト演習Ⅰ	スケッチの基本であるマーカーを使用し、プロポーション・質感表現・陰影法・マーカーテクニックを習得する。	1前	2		○		○		○		
2	○			イラスト演習Ⅱ	CLIPSTUDIOを使用しデジタルでのマンガ制作を習得する。	1後	1		○		○		○		
3	○			コミックアート演習Ⅰ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または１・２年合同で取り組む。	1前	1		○		○		○		○
4	○			コミックアート演習Ⅱ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または１・２年合同で取り組む。	1後	1		○		○		○		○
5	○			ＤＴＰ基礎Ⅰ	デジタル基礎として主にDTP作業に必要なIllustrator及びPhotoshopの基礎知識、技術、さまざまなルールについて、課題の制作を通して習得する。	1前	2		○		○		○		
6	○			ＤＴＰ基礎Ⅱ	デジタル基礎として主にDTP作業に必要なIllustrator及びPhotoshopの基礎知識、技術、さまざまなルールについて、課題の制作を通して習得する。	1後	2		○		○		○		
7	○			ドローイングテクニックⅠ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方などの基本を理解する。	1前	2		○		○		○		
8	○			ドローイングテクニックⅡ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方などの基本を理解する。	1後	2		○		○		○		
9	○			色彩計画	感覚や好き嫌いだけでなく色彩理論に沿った色使いができる知識を養う。	1前	2	○			○		○		
10	○			ストーリーテクニックⅠ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方、キャラクター作り、ストーリー作りを学ぶ。	1前	2		○		○			○	
11	○			ストーリーテクニックⅡ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方、キャラクター作り、ストーリー作りを学ぶ。	1後	2		○		○			○	

12	○			修了制作	デザイン展での発表に向けての作品制作。テーマに沿ったプロット制作、ラフ案からの制作。	1後	1		○		○		○		
13	○			ＣＧ演習Ⅰ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の復習、及び応用力を養う。	1前	2		○		○		○		
14	○			ＣＧ演習Ⅱ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の復習、及び応用力を養う。	1後	2		○		○		○		
15	○			イラストレーションⅠ	様々なイラストレーションの実用法を学び、実戦に役立つ技術を身につける。	1前	2		○		○			○	
16	○			イラストレーションⅡ	様々なイラストレーションの実用法を学び、実戦に役立つ技術を身につける。	1後	2		○		○			○	
17	○			office演習Ⅰ	MicrosoftofficespecialistExcel２０１６取得を目指す。	1前	1		○		○			○	
18	○			office演習Ⅱ	MicrosoftofficespecialistExcel２０１６取得を目指す。	1後	1		○		○			○	
19	○			社会人基礎講座Ⅰ	社会人として必要不可欠な社会人マナーや就職内定を目標とする就活対策を行う。	1後	2	○			○		○		
20	○			Ｗｅｂ演習Ⅰ	Web制作に必要な知識全般を習得し、WordPressを利用した自分のサイトを制作する。	2前	1		○		○		○		
21	○			64	Web制作に必要な知識全般を習得し、WordPressを利用した自分のサイトを制作する。	2後	1		○		○		○		
22	○			ＤＴＰ応用Ⅰ	１年時に学んだ基礎をもとに、より応用的なDTPの作業を行いながら実践的なデザイン制作を学ぶ。	2前	2		○		○		○		
23	○			ＤＴＰ応用Ⅱ	デザイン作成の具体的な手法を、実際の制作を通して学ぶ。	2後	2		○		○		○		
24		○		マンガ演習Ⅰ	投稿作品を完成、雑誌新人賞に応募し入賞を目指す。	2前	2		○		○			○	
25		○		マンガ演習Ⅱ	投稿作品を完成、雑誌新人賞に応募し入賞を目指すと共に、編集部への持ち込みも行う。	2後	2		○		○			○	

26		○		コミックイラスト演習Ⅰ	コミックイラストの制作と発表に求められるアイディアの発想法や、具体的な手段を理解し、テーマ公募や作品展のための作品を制作する。	2前	2		○		○			○	
27		○		コミックイラスト演習Ⅱ	コミックイラストの制作と発表に求められるアイディアの発想法や、具体的な手段を理解し、テーマ公募や作品展のための作品を制作する。	2後	2		○		○			○	
28		○		商業イラストⅠ	イラストを使った事例を透し、実務で必要なディレクション力を学ぶ。	2前	2		○		○			○	
29		○		商業イラストⅡ	イラストを使った事例を透し、実務で必要なディレクション力を学ぶ。	2後	2		○		○			○	
30		○		作品プロデュース演習Ⅰ	イラスト作品の企画立案から制作、発表までの一連の流れを学び、作品の魅力を効果的に伝えるための表現力と企画力を養う。	2前	2		○		○			○	
31		○		作品プロデュース演習Ⅱ	イラスト作品の企画立案から制作、発表までの一連の流れを学び、作品の魅力を効果的に伝えるための表現力と企画力を養う。	2後	2		○		○			○	
32		○		ストーリーテクニックⅢ	キャラクター作り、ストーリー作りにおける細やかな演出方法を学ぶ。	2前	2		○		○			○	
33		○		ストーリーテクニックⅣ	卒業制作に向けたマンガ制作に取り組む。	2後	2		○		○			○	
34	○			コミックアート演習Ⅲ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または１・２年合同で取り組む。	2前	2		○		○		○		○
35	○			コミックアート演習Ⅳ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または１・２年合同で取り組む。	2後	2		○		○		○		○
36		○		コミックテクニックⅠ	マンガ制作におけるコマワリ、アングル（構図）など細部における技術やテクニックを身に着ける。	2前	2		○		○		○		
37		○		コミックテクニックⅡ	マンガ制作におけるコマワリ、アングル（構図）など細部における技術やテクニックを身に着ける。	2後	2		○		○		○		
38	○			社会人基礎講座Ⅱ	早期内定獲得の為の就職活動対策。	2前	2	○			○		○		
39	○			社会人基礎講座Ⅲ	社会人としてのマナーや知識の習得。	2後	2	○			○		○		

40	○			卒業制作Ⅰ	これまでに習得した知識や技術を活かし卒業制作に向けた作品の企画・構想・制作を行い、表現力と創作力を高める。	2前	1		○		○		○		
41	○			卒業制作Ⅱ	卒業制作作品の完成に向けて制作を進め作品の完成度を高めるとともに、作品を通じて自身の成果や個性を表現する力を養う。	2後	2		○		○		○		
42	○			グッズデザイン演習	マンガやイラストのキャラクター等の作品を活用したグッズの企画・デザイン制作を通して、商品化に必要な発想力とデザイン力を養う。	2前	1		○		○		○		
43	○			３Ｄ演習Ⅰ	Blenderを使用した3DCGモデリング手法を学ぶ。	2前	1		○		○		○		
44	○			３Ｄ演習Ⅱ	Blenderを使用した3DCGモデリング手法を学ぶ。	2後	1		○		○		○		
合計					44 科目				76 単位							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	①全科目の成績評価がすべてC以上であること②年間出席率80%以上	１学年の学期区分	2 期
履修方法：	講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履	１学期の授業期間	15 週

（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹デザインカレッジ	平成4年3月24日	森川　和哉	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-3-5 （電話）　087-823-5500
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-2266

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
工業	工業専門課程	ネット動画クリエイター学科	令和 5(2023)年度		令和 6(2024)年度

学科又は専攻科の目的	動画中心にインターネットを活用した情報発信できる基礎的な知識と技術を習得し、多様性を理解し、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけ、様々なニーズに応えるコンテンツ制作力を身につけ地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	取得可能資格：インターネットベーシックユーザーテスト（iBut）、色彩検定3級

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	66　単位	16 単位	50 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
40 人	20 人	1 人	5 %	0 %

■就職希望者数 (D)	11	人
■就職者数 €	11	人
■地元就職者数 (F)	8	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	73	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	92	%
■進学者数	0	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

映像制作、施設管理、飲食スタッフ、製造

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/design/online-video-creator/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数		66 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数	19 単位
	うち必修単位数	19 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	19 単位
	（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	2 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		2 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

〇教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年10月27日　15:30～16:30/第2回　令和8年3月13日　11:00～12:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社 取締役社長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
久米　繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 部長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード　代表取締役	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
高津　美沙	ときこす実行委員会　代表	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
瀧下　直樹	株式会社ジーン　香川スタジオ室長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
坂上　月	株式会社tao.　代表取締役	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
森川　和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ　校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
加藤　猛	学校法人穴吹学園　高松　統括副校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
西尾　通 哲	専門学校穴吹デザインカレッジ　副校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
大西　歩未	専門学校穴吹デザインカレッジ　教務部長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
髙橋　潤	専門学校穴吹デザインカレッジ　教務課長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
中田　忠 志	専門学校穴吹デザインカレッジ　教務課長代理	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
眞鍋　量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ　主任	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
佐々木　和郎	専門学校穴吹デザインカレッジ　主任	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
長川　信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
総合動画実務Ⅱ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	実際にクライアントワークを行い、実務に必要な知識を実践を通して学ぶ。	サンポート高松トライアスロン大会実

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： シナリオ(脚本・台本)講座　　連携企業等： さぬき映画祭企画実施委員会
期間： 2025年7月～9月（計5回）　　対象： 学科担当教員
内容 シナリオ（脚本・台本）を書く技術を学ぶ講座

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 非認知能力勉強会　　連携企業等： 学校法人穴吹学園
期間： 2025年12月22日（月）15:30～17:00　　対象： 学科担当教員
内容 専門学校生の非認知能力向上に向けた研修

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 文化芸術を活用した ソーシャルアントレプレナー育成講座　　連携企業等： クリエイティブ・ポート高松
期間： 2026年 11月～2027年2月（計11回）　　対象： 学科担当教員
内容 文化芸術活動を基軸に、地域社会の課題解決を伴う新たな事業創出を試み、文化芸術に関わる雇用の場を広げていくことができる人材（＝ソーシャルアントレプレナー）の育成

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 実践行動学Webセミナー　　連携企業等： 一般社団法人 実践行動学研究所
期間： 2026年 11月17日（火）15:00～1700　　対象： 学科担当教員
内容 中途退学予防と学生支援 ～AI・データから早期に読み解く予兆と具体的な支援策

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けていない
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界団体委員
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社 取締役社長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
久米　繁美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 部長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード　代表取締役	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
高津　美沙	ときこす実行委員会　代表	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
瀧下　直樹	株式会社ジーン　香川スタジオ室長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坂上　月	株式会社tao.　代表取締役	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
金子　達雄	香川県立高松工芸高等学校　校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
川平　建三郎	香川県立善通寺第一高等学校　校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
宇佐美　梨恵	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	保護者代表委員
田村　享昭	タムラデザイン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	―
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年11月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	―
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年11月1日		

授業科目等の概要

	（工業専門課程 ネット動画クリエイター学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			メディア発信Web	Webサイト、バナー、サムネイル画像などのWeb制作に必要な基本的なスキルを身につける	1前	2		○		○		○		
2	○			メディア発信sns	SNSをはじめとするインターネットを活用した情報発信方法を学ぶ。	1後	4		○		○		○		
3	○			撮影演習	スマホ・ビデオ・デジイチのカメラ操作、三脚、マイク、照明の扱い方の練習	1前	3		○		○		○		
4	○			ライブ配信基礎	インターネットライブ配信の手法を学び、企画番組や現場で必要なスキルを身につける。	1前	3		○		○		○		
5	○			Premiere演習	AdobePremiereの基本操作と動画編集の知識を習得し、動画編集に必要な基本的な編集方法を学ぶ。	1前	3		○		○		○		
6	○			Office演習	一般的に最もよく使われるWord・Excel・PowerPointの基本機能を学習する。	1前	1		○		○		○		
7	○			カラーテクニック	感覚や好き嫌いだけでなく色彩理論に沿った色使いができる知識を養う。色彩が与える影響を知りデザインに活かせるようになる	1前	2	○			○		○		
8	○			Illustrator・Photoshop演習	動画にも使えるPhotoshop・Illustratorの基礎知識、技術について、課題の制作を通して習得する	1前	1		○		○		○		
9	○			インターネット基礎	パーソナルコンピュータを活用するために必要な知識と技術を概説する。さらにインターネットやセキュリティに関する注意事項、Webでのコミュニケーションを図るためのソフトウェアの使い方を解説する。	1後	2	○			○			○	
10	○			Aftereffects演習	AdobeAfterEffectsの基本操作と動画編集の知識を習得し、動画編集に必要なアニメーションや効果的な編集方法を学ぶ	1後	2		○		○		○		
11	○			テロップデザイン	Illustrator、Photoshop、PremierProでのテロップデザインを経験する。静止したものだけでなく、動くテロップも作ってみる。架空の番組のタイトルデザインに取り組む。	1後	1		○		○			○	

12	○			制作演習	前期に学習した、企画・撮影・編集を実践的に学ぶ授業。	1後	2		○		○		○		
13	○			総合動画実務Ⅰ	講義および演習を通して、動画制作の一連の流れ「企画・提案・撮影・編集・発信」を習得する。	1後	3		○		○		○		
14	○			修了制作	デザイン展に向けて修了作品の制作をする	1後	2		○		○		○		
15	○			社会人基礎講座Ⅰ	就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じで問題や課題を発見し、授業で解決していく。	1後	2	○			○		○		
16	○			メディア発信応用	これまでに学んだSNSをはじめとするWebマーケティングに必要な知識や手法を活用して、提示する課題について解決方法を企画、制作、発信し、その効果を分析しPDCAサイクルを実務として行う。	2前	6	○			○		○		
17	○			総合動画実務Ⅱ	講義および演習を通して、動画制作の一連の流れ「企画・提案・撮影・編集・発信」を習得する。	2前	10		○		○		○	○	○
18	○			総合動画実務Ⅲ	講義および演習を通して、動画制作の一連の流れ「企画・提案・撮影・編集・発信」を習得する。	2後	9		○		○		○	○	
19	○			卒業制作	デザイン展に向けて卒業作品の制作をする	2後	4		○		○		○		
20	○			社会人基礎講座Ⅱ	就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じで問題や課題を発見し、授業で解決していく。	2前	2	○			○		○		
21	○			社会人基礎講座Ⅲ	就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じで問題や課題を発見し、授業で解決していく。	2後	2	○			○		○		
合計					21 科目				66 単位							

卒業要件：	①全科目の成績評価がすべてC以上であること	1学年の学期区分	2 期
履修方法：	講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履	1学期の授業期間	15 週

（別紙様式４）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校穴吹デザインカレッジ	平成4年3月24日	森川　和哉	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-3-5 （電話）　087-823-5500
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人穴吹学園	平成3年4月1日	穴吹　忠嗣	〒　760-0020 （住所）　香川県高松市錦町1-22-23 （電話）　087-823-2266

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
工業	工業専門課程	ゲームクリエイター科	令和 6(2024)年度	－	令和 7(2025)年度

学科又は専攻科の目的	企画、プログラム、CG技術の習得と3Dゲームプログラミングなどの応用技術を得て、キャラクター、エフェクト、ステージなどの要素を、様々なプラットフォーム上で構築できる技術と人間力を兼ね備えたゲームプログラマを養成する
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	サーティファイC言語プログラミング能力認定試験、基本情報技術者試験

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3　年	昼間	95　単位	34 単位	61 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
60 人	30 人	0 人	0 %	6 %

就職等の状況

■卒業者数 ©	9	人
■就職希望者数 (D)	9	人
■就職者数 €	9	人
■地元就職者数 (F)	1	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	11	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	100	%
■進学者数	0	人

■その他

なし

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

業界:ゲームプログラマ、システムエンジニア、プログラマ、機械メンテナンス、自衛隊

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://web.anabuki-college.net/department/design/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

総単位数	95 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	5 単位
うち必修単位数	95 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	5 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	2 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		2 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

○教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年10月27日　15:30～16:30/第2回　令和8年3月13日　11:00～12:00
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
森川　和哉	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
加藤　猛	学校法人　穴吹学園　高松	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
西尾　通哲	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
大西　歩未	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
髙橋　潤	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
中田　忠志	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
眞鍋　量臣	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
佐々木　和郎	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
長川　信也	専門学校穴吹デザインカレッジ	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
修了制作Ⅱ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	本格的な3Dゲーム開発に取り組み、より深く3Dゲーム開発手法を習得する。また、ゲーム作品のプレゼンテーションを行い、効果的なプレゼンテーションを習得する	株式会社ジーン

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
教員は教職員研修規定に従い、ゲーム業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	東京研修	連携企業等：	株式会社キャメロット
期間：	2026年09月18日(金) ～ 09月20日(日)	対象：	学科担当教員
内容	ゲーム、XR企業を訪問し、業界や最新の開発について学ぶ。また東京ゲームショウの見学により、ゲーム業界の最前線の情報収集を図る。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	AIリテラシー講座	連携企業等：	株式会社ウイネット
期間：	2026年1月	対象：	学科担当教員
内容	人工知能・機械学習・深層学習の基礎理論から、実際のビジネス・生活シーンでAIがどう使われているかの事例まで、幅広い知識を学習		

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	東京研修	連携企業等：	株式会社キャメロット
期間：	2027年09月17日(金) ～ 09月19日(日)	対象：	学科担当教員
内容	ゲーム、XR企業を訪問し、業界や最新の開発について学ぶ。また東京ゲームショウの見学により、ゲーム業界の最前線の情報収集を図る。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	ファシリテーション基本コース	連携企業等：	株式会社日本能率協会
期間：	2026年12月	対象：	学科担当教員
内容	会議やチームでの協働の場において「何が問題か」を理解し、実践できるファシリテーションの基本スキルを学習します。		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

（4）教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていこ	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
（5）教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
（6）教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
神余　智夫	香川県建築士事務所協会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	業界団体委員
岡　伸紀	あなぶき・きなりの家株式会社	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
久米　潔美	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
鶴川　信一郎	株式会社ウィザード	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
高津　美沙	ときこす実行委員会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
瀧下　直樹	株式会社ジーン	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
坂上　月	株式会社tao.	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
金子　達雄	香川県立高松工芸高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
川平　建三郎	香川県立善通寺第一高等学校	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高校関係委員
宇佐美　梨恵	専門学校穴吹デザインカレッジ保護者会	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	保護者代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/wp-content/uploads/2025/11/4186ac805f4fe58e4e29b3cbab20711c.pdf		
公表時期	令和8年12月1日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://web.anabuki-college.net/guide/disclosure/		
公表時期	令和8年12月1日		

授業科目等の概要

	（工業専門課程 ゲームクリエイター科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○	－	－	C++ゲーム制作	C++言語の基礎的な言語仕様を理解し、さまざまなプログラミングに対応できるプログラミング技術を習得する	1前	5	－	○	－	○	－	○	－	－
2	○	－	－	ゲームデザインⅠ	ゲーム開発における企画立案方法、チーム運営方法等、プランナーとしての技術習得し、ゲーム企画書、仕様書の作成を行う	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
3	○	－	－	ゲーム数学演習Ⅰ	座標、ベクトル、行列などの数学の基礎を身に付け、ゲームプログラミングでの移動や回転、拡大縮小などの活用方法を習得する	1前	1	－	○	－	○	－	○	－	－
4	○	－	－	2Dゲーム素材制作演習	GIMPの機能を理解するとともに、ドット絵、UIデザイン、エフェクトの２DCGの知識を身に付ける	1前	2	－	○	－	○	－	－	○	－
5	○	－	－	ゲームアルゴリズム	プログラミングに必要な手順や計算法であるアルゴリズムについて学習し、プログラミングにおける処理手順の構築法を習得する	1前	4	○	－	－	○	－	○	－	－
6	○	－	－	Office演習	Word、Excelの演習を通し、基本的な操作を習得し、ゲーム作成時に作成するレジュメ(発表用資料)や仕様書、企画書作成に必要なスキルを養う	1前	1	－	○	－	○	－	－	○	－
7	○	－	－	色彩計画	効果的なカラーコーディネーションを行うために、まず色の性質を知り、配色の基本を学ぶ。また、検定対策を行い色彩検定３級の取得を目指す。	1前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
8	○	－	－	コンピュータ概論Ⅰ	情報技術の基礎的な内容（ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、データベースなど）を習得する	1後	6	○	－	－	○	－	○	－	－
9	○	－	－	修了制作Ⅰ	C++と数学・物理計算を活用し、2Dゲームのロジックを実装したゲーム開発技術を習得する	1後	4	－	○	－	○	－	○	－	－
10	○	－	－	ゲームエンジン基礎	ゲームエンジンUnityの基礎を身につけゲームを制作する	1後	3	－	○	－	○	－	○	－	－
11	○	－	－	3Dゲーム素材制作演習	3Dアニメーションソフト「Blender」を使用し、3Dモデルのデータ作成、アニメーションやフィールドなど、3Dゲームに利用する素材の作成を行う	1後	2	－	○	－	○	－	－	○	－

12	○	－	－	プレゼンソフト演習	PowerPointの基本操作技術を身につけ、今後のプレゼンテーションに活用できる力をつける	1後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
13	○	－	－	コンピュータ概論Ⅱ	基本情報技術者試験の範囲である、情報処理に関するストラテジーやマネジメントについての知識を習得する	2前	6	○	－	－	○	－	○	－	－
14	○	－	－	ゲームエンジン演習Ⅰ	ゲームエンジン開発環境でのゲーム制作を行い、ゲームエンジンを使用したゲーム開発方法を習得する	2前	3	－	○	－	○	－	－	○	－
15	○	－	－	ゲームデザインⅡ	ゲーム開発におけるチーム運用とプロジェクト管理を理解する。また企画発想法を学び、常にブランニューを目指し、新しい発想技術を習得する	2前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
16	－	○	－	3Dプログラミング演習	3Dグラフィックスプログラミングと、それに不可欠な物理・数学の基礎を学び、3Dゲームの開発手法を習得する	2前	6	－	○	－	○	－	○	－	－
17	－	○	－	XR基礎演習	3DCGと空間表現技術をベースに、AR・VR・MRの開発手法を習得します。	2前	6	－	○	－	○	－	○	－	－
18	○	－	－	情報処理対策講座	基本情報技術者試験合格のため、午後問題の各分野の対策を行う。	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
19	○	－	－	VR制作演習	OculusQuestを使用したVR技術を習得する。また、ゲーム業界に限らず、今後増えていくVR業界のユーズにあった技術の習得を目指す。	2後	3	－	○	－	○	－	－	○	－
20	○	－	－	動画制作演習	『DaVinci Resolve』を使用し、就職活動用のプロモーション動画を作成する	2後	1	－	○	－	○	－	－	○	－
21	○	－	－	修了制作Ⅱ	本格的な3Dゲーム開発に取り組み、より深く3Dゲーム開発手法を習得する。また、ゲーム作品のプレゼンテーションを行い、効果的なプレゼンテーションを習得する	2後	5	－	○	－	○	－	○	○	○
22	－	○	－	ゲームAI演習	ゲームに於けるキャラクターの行動をつかさどるAIの構築技術を学び、ゲームデザインに反映させ、作品のクオリティアップに貢献する	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
23	－	○	－	キャラクター制作演習	「人物キャラクター」制作を通して、高度な「モデリング、UVテクスチャリング、アーマチュア・ウェイト、アニメーション」制作技術をマスターする	2後	2	－	○	－	○	－	－	○	－
24	○	－	－	社会人基礎講座Ⅰ	就職活動に必要な基本的な知識、技術、マナーを学び、就職活動の流れを理解し社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける	2後	2	○	－	－	○	－	○	－	－
25	○	－	－	ゲーム開発演習	コンシューマーゲーム機開発や、XRの高度な技術などの、各種ハードウェアや入力デバイスの特性に応じたゲーム・コンテンツの制作手法を習得します。	3前	7	－	○	－	○	－	○	－	－

26	○	－	－	ゲームエンジン演習Ⅱ	Unreal Engineの操作方法を習得し、ゲームエンジン演習Ⅰで学習したUnityとの違いを学び、ゲーム業界で採用されている2つのゲームエンジンの使い分けを理解する	3前	3	－	○	－	○	－	－	○	－
27	○	－	－	HTML/CSS	ホームページを作成するためのHTML,CSSを学び、Webデザインを習得する。	3前	2	－	○	－	○	－	○	－	－
28	○	－	－	社会人基礎講座Ⅱ	基本となる「就業意識」を醸成し、実際の就職活動に即した必要な知識・技術を学習、単に内定を獲得するだけでなく、就職後も「より良き社会人・企業人」への理解を得る	3前	2	○	－	－	○	－	○	－	－
29	○	－	－	卒業制作	プロジェクトチームを作り、チームメンバーと協調し、これまで学んできた知識や技術の集大成としたゲームソフトの制作を行う	3後	7	－	○	－	○	－	○	○	－
30	○	－	－	メタバース概論	メタバースの定義と歴史及びメタバースの特徴を学び、ブロックチェーン技術やNFTの定義を理解する。	3後	6	○	－	－	○	－	○	－	－
31	○	－	－	サーバーサイドプログラム演習	Apache、PHP、MySQLを組み合わせたWebアプリケーションを作成する技術を習得し、Webアプリケーションとデータベースの設計を理解する	3後	3	－	○	－	○	－	－	○	－
合計					31 科目			103 単位								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	①全科目の成績評価がすべてC以上であること	1学年の学期区分	2 期
履修方法：	講義：指定されたテキストに沿って学習。定期試験に合格すれば履	1学期の授業期間	15 週